

上下水道アンケート調査結果報告書

(平成 27 年 3 月実施)

池田市上下水道部

はじめに

市民の皆様には、日頃から何かと上下水道事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。近年、社会・経済情勢は大きく変化するライフスタイルや水道水・下水処理に対する意識も変化しているものと考えられます。そこで、今回のアンケート調査は、皆様の上下水道のご利用状況と上下水道に関する率直なご意見をお伺いし、今後の事業運営の基礎資料とするため実施するものです。上下水道部局が組織統合してから2回目の調査を多くの皆様のご協力を得て行うことができました。

水道事業の使命は、市民の皆様に清浄で豊富かつ低廉な水道水を安定的に供給することです。今後、老朽化施設の更新を図るとともに災害時にも水道水を皆様のご家庭に供給できるよう努めてまいります。

一方、下水道事業は豪雨による浸水被害の軽減や下水処理水の水質改善を目的とした高度処理化、老朽化施設の機能更新、耐震対策に努めてまいります。

今後は、今回の調査結果を参考に水道事業と下水道事業を健全な水循環の構築という大きな視野でとらえながら、事業のレベルアップとサービスの向上を目指してまいります。

池田市上下水道アンケート 調査結果報告書

[目次]

アンケート結果概要

結果まとめ	1	問 33	上下水道に関する情報源	21
問 1 性別	2	問 34	広報誌「水だより」	21
問 2 年齢	2	問 35	上下水道で知りたい情報	22
問 3 家族構成	2	問 36	ホームページについて	23
問 4 在住年数	2	問 37	モニターの認識	24
問 5 住居形態	3	問 38	モニターに参加したいか	24
問 6 池田市の水源	4	調査票		25
問 7 水源汚染への関心	4			
問 8 大阪水道企業団について	4			
問 9 水道水の直接飲用	5			
問 10 高度処理と水道料金	6			
問 11 浄水器の使用状況	7			
問 12 ボトルウォーターの購入	8			
問 13 災害時の備え	9			
問 14 渴水問題への関心	10			
問 15 蛇口数	11			
問 16 入浴状況	11			
問 17 洗濯状況	12			
問 18 独立採算制	13			
問 19 水道料金の値ごろ感	13			
問 20 検針委託の認識	14			
問 21 夜間・休日の委託の認識	14			
問 22 悪質訪問販売	14			
問 23 民間委託	15			
問 24 水道事業に望まれること	16			
問 25 下水についての関心	16			
問 26 下水の役割やしきみ	15			
問 27 下水のとりくみ	17			
問 28 取組みの重要性	18			
問 29 「打ち水大作戦」	19			
問 30 下水処理水の有効活用	19			
問 31 下水道使用料のしきみ	20			
問 32 下水道使用料の料金体系	20			

【アンケート概要】

調査目的	上下水道使用者の適切な顧客ニーズを把握し、今後の上下水道事業の運営に資する。
調査対象	池田市の水需要家
抽出方法	無作為抽出法
アンケート実施期間	平成27年3月6日～3月31日
調査方法	郵送方式
アンケート依頼件数	1000世帯
回収数	510件
回収率	51.0%

結果まとめ

今回のアンケートの回答者は510名、回収率は51.0%(平成22年度54.1%)。非常に多くの市民の協力を得ることができた。

回答者の特徴としては、50歳以上が7割弱(69.0%)を占める。中高年層が大部分を占めることから、池田市に住んで21年以上の方が多かった(57.6%)。住居形態は一戸建てが64.1%と最も多かった。

水道水の直接飲用率は52.1%で、60歳代を境に直接飲用率が50%を超える結果となった。また、水道水の味については「普通」が72.2%で前回(62.5%)より増加した。高度浄水処理方法導入による料金アップについては、「今のままでよい」が6割を占め、4割が浄水器を導入し、6割以上がボトルウォーターを購入するなど自前でより「おいしい水」への対策をしているようである。

下水道事業に関しては今回が2回目のアンケート調査となるが、下水道事業への関心は高まっている結果となった。下水については7割弱(69.4%)が関心をもっていた。生活に身近な浸水対策や汚水処理については7割以上が役割を理解しているものの、処理水の有効利用については、認識が4割強となった。池田駅前のせせらぎモールのPRをさらに強化する必要がある。

下水道使用料のしくみについては、2割強しか理解されておらず、水道料金と一緒に徴収されていることも一つの要因ではないだろうか。

上下水道についての情報源は「水だより」や「広報いけだ」としている回答が5割を超えた。一方、上下水道部のホームページを見たことがあるは4.3%に留まり、ホームページへの認識が低いようだ。今後ホームページをPRし内容を充実させる必要がある。

モニター会議については今回はじめて設問を設けたが、知らない人が8割で、会議に関心がある人が2割にとどまった。今後もモニター会議の浸透をはかる必要がある。

今回水道事業と下水道事業との組織統合後2回目となるアンケート調査を行い、市民の意見を伺った。今後とも、今回のアンケート調査で寄せられた意見を生かし、よりよい上下水道事業運営に取り組むとともに、さらなる広報広聴にも取り組んでいく必要がある。

回答者基本属性

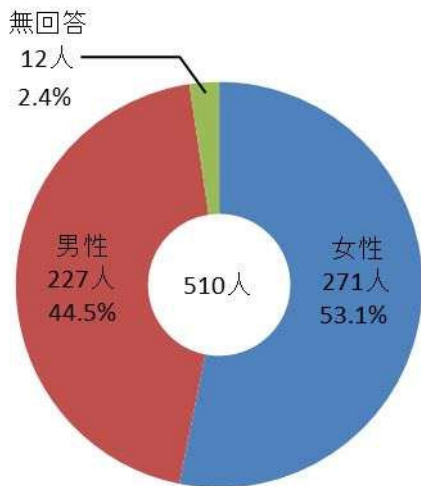
性別は、女性が 53.1%、男性が 44.5%と女性の回答者が多かった。(家族の中で最も上下水道の使用状況に詳しい方にアンケートをお願いした。)

年齢は「70 歳以上」が 31.6%と最も多く、次に「60 歳代」が 24.1%を占め、「40 歳代」、「50 歳代」、「30 歳代」と続く。「20 歳代」については 18 人、「10 歳代」は 1 人と少数であり、50 歳以上が全体の 7 割弱 (69.0%) を占める。

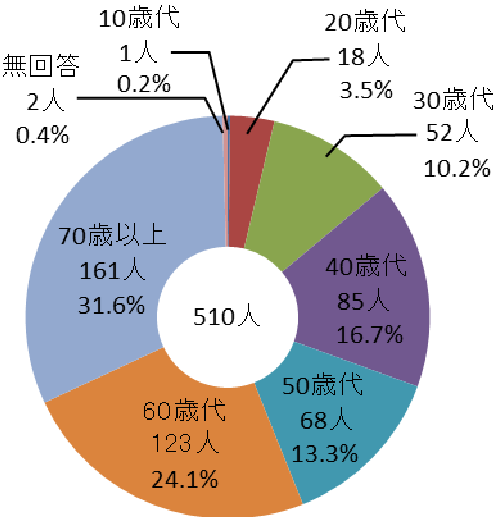
家族人数は、「2 人」が 32.1%と最も多く、「3 人」(21.8%)、「1 人」(20.2%)、「4 人」(17.6%)が続き、2～4 人家族が 7 割強 (71.5%) を占める。

池田市の在住年数は「21 年以上」が 57.6%と、長年住んでいる方が多く見られる。

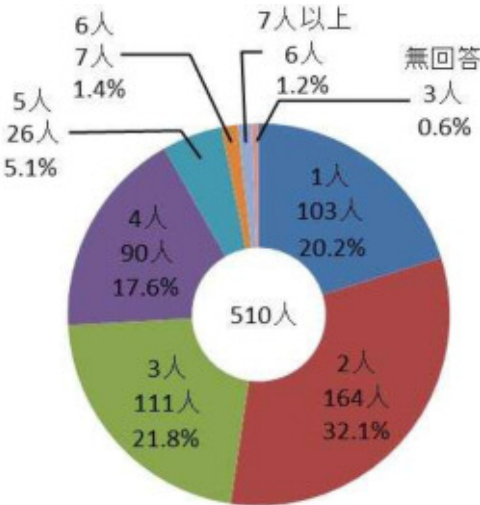
問 1 性別



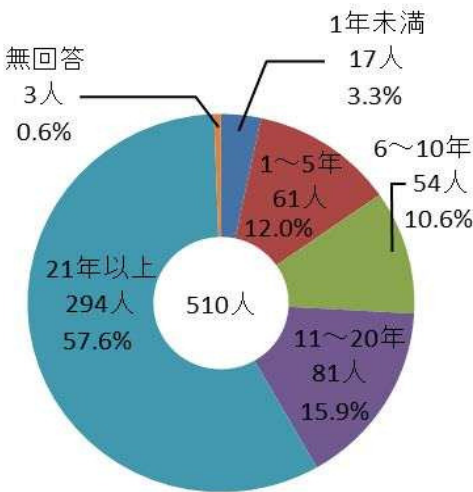
問 2 年齢



問 3 家族人数

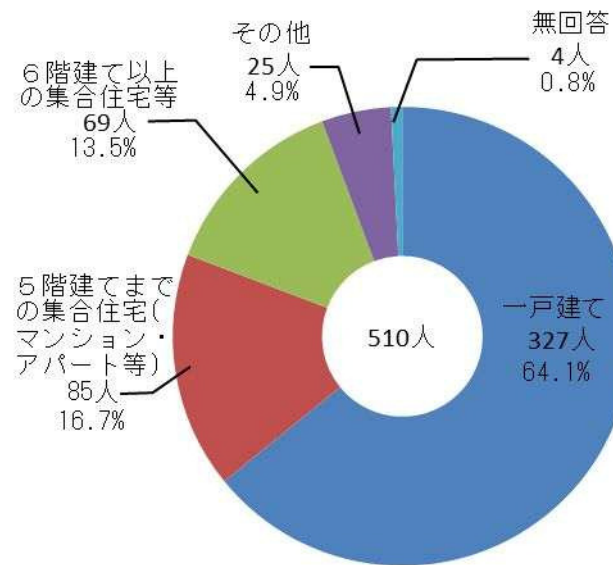


問 4 在住年数



住居形態については、「一戸建て」住宅が 64.1%と圧倒的に多く、「5 階建てまでの集合住宅」が 16.7%で 2 番目に多い。

問 5 住居形態

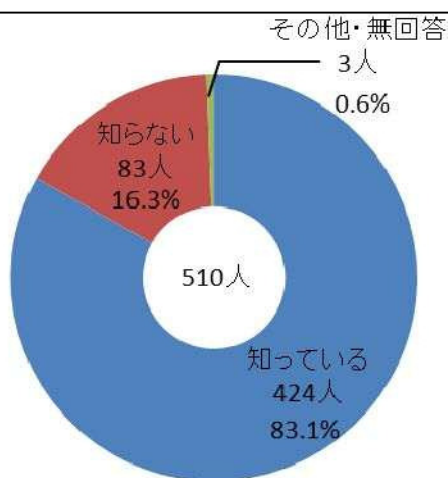


水源について

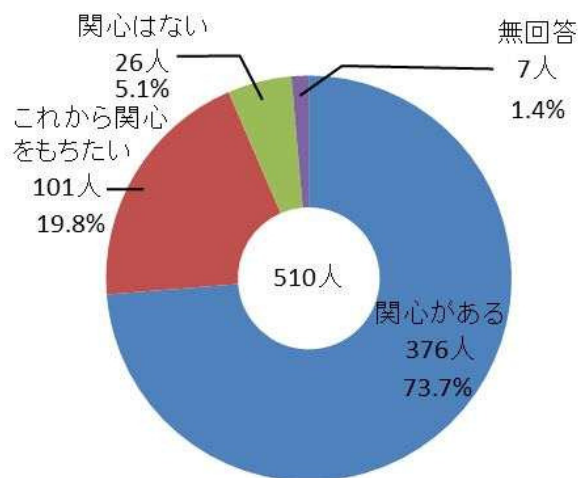
池田市の水源が猪名川・余野川であることを全体の 83.1%が認識しており、その水源の汚れについても関心をもっている人が大多数であるが前回より比率がやや低下した。

大阪広域水道企業団の認知度については、32.9%しかなく前回調査より 8.3 ポイント低下した。油流出事故や渇水など緊急時に備えた複数水源化の確保についてPRする必要がある。

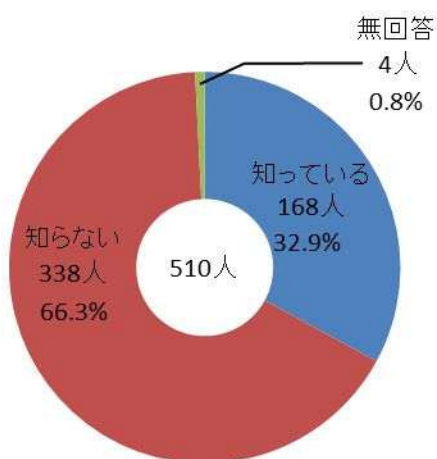
問 6 池田市の水道水源は猪名川（一庫ダム）・余野川であることをご存知ですか。



問 7 水源である猪名川・余野川の水の汚れに関心がありますか。



問 8 大阪広域水道企業団から受水していることをご存知ですか。



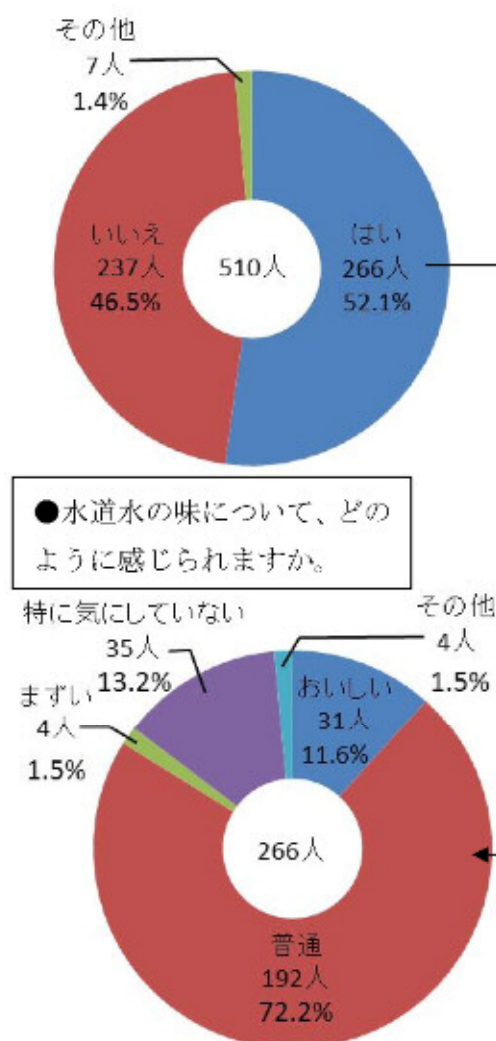
水道水の安全性について

水道水の直接飲用率は 52.1% (前回 54.5%) であった。過半数の方は直接飲用しているものの、近年の飲料用にはボトル水という傾向を如実に表している。また、水道水の味については、「普通」が 72.2% と大多数の意見である。「特に気にしていない」、「おいしい」と続く。

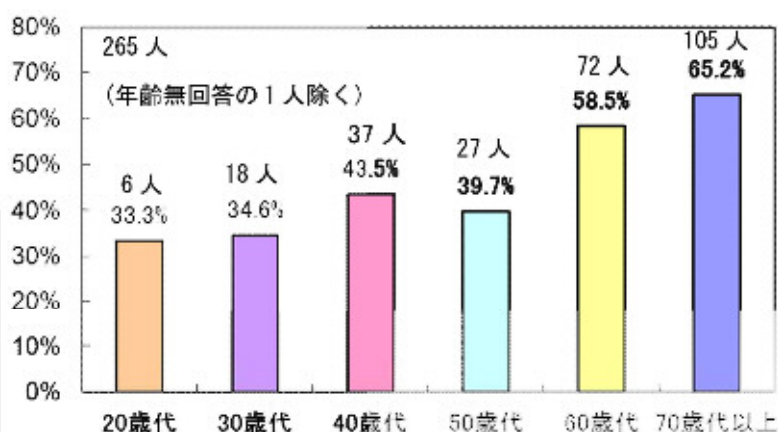
年齢別の水道水の直接飲料率を見ると、60 歳代以上では過半数が直接飲料するのに対し、50 歳代以下では過半数が直接飲用しないという結果となった。なお、10 歳代 1 人は、「グラフ化していないが」、「直接飲料」しないという回答であり、年齢を無回答の 1 人は「直接飲料」するという回答であった。

水道水の味については、前回調査までと比べると、「まずい」が減少し、「普通」という意見が増えた。

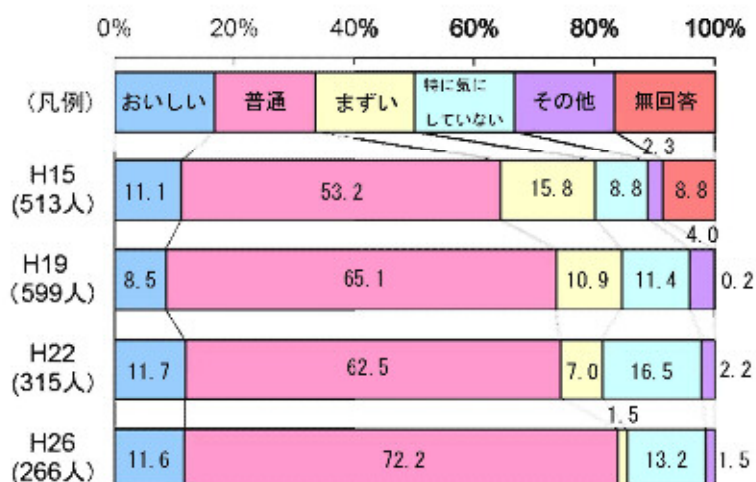
問 9 水道水をそのまま飲みますか。



■年齢別直接飲用率

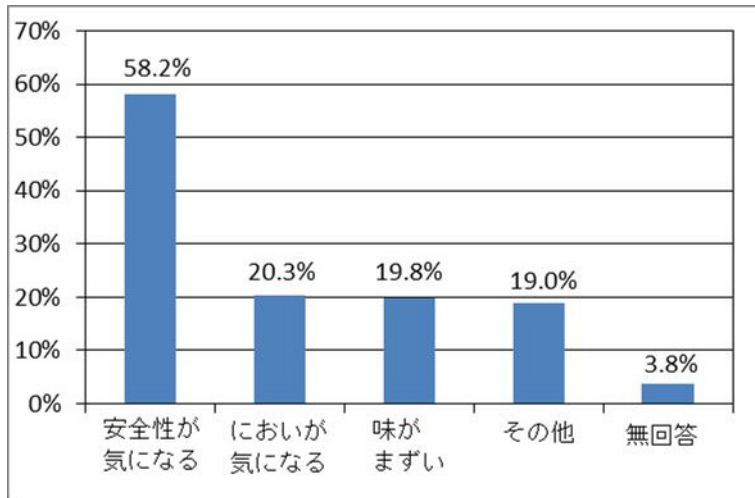


■過去の調査との比較



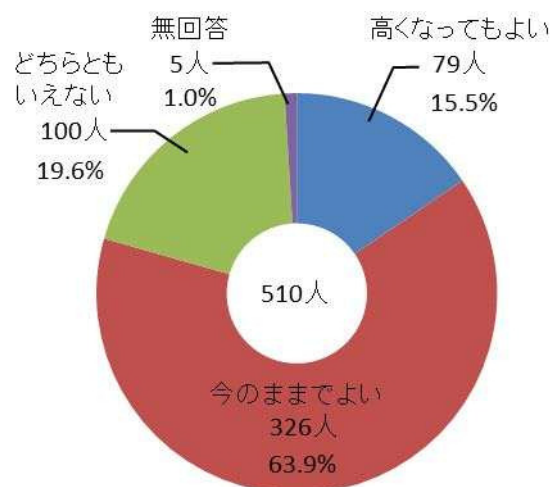
水道水をそのまま飲まない理由としては「安全性が気になる」が過半数(58.2%)であり、その他の理由としては浄水器の使用や沸かして飲むことを挙げる人があった。

●水道水をそのまま飲まない理由（複数回答可）



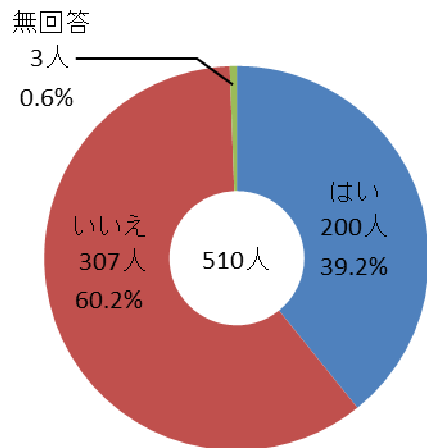
高度浄水処理の導入によって水道料金が高くなることについて、「今のままでよい」が63.9%(前回51.6%)と約6割を占めた。一方、「高くなってもよい」という人は15.5%(前回20.2%)であった。多くの市民は、水質の向上よりも現行料金の維持を求められているようだ。

問10 現在の浄水処理方法をレベルアップした高度浄水処理方法があります。この高度浄水処理をすれば水道の水質はさらによくなりますが、料金は高くなります。それをどのように思われますか。

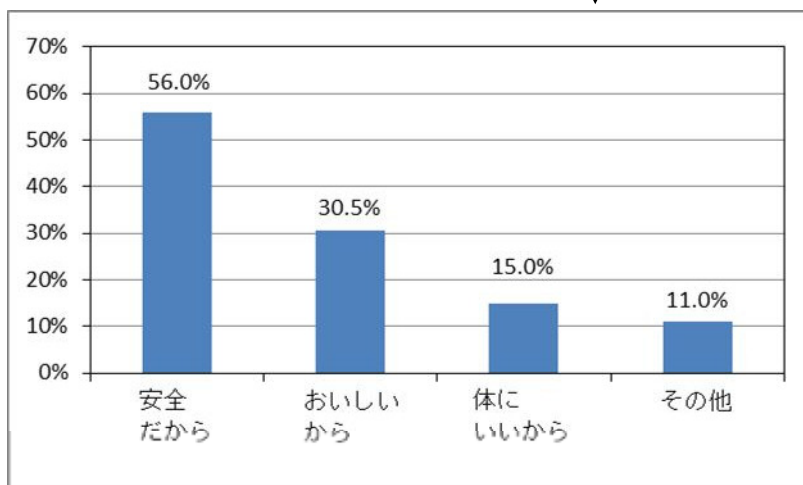


浄水器の使用率は全体の 39.2%であった。使用している理由としては、「安全だから」が 56.0%を占め、続いて「おいしいから」が 30.5%であった。その他の意見として、住宅購入時に浄水器が標準装備されていたという意見が見られた。

問 11 あなたのご家庭では浄水器をお使いですか。



●お使いの理由は何ですか。※

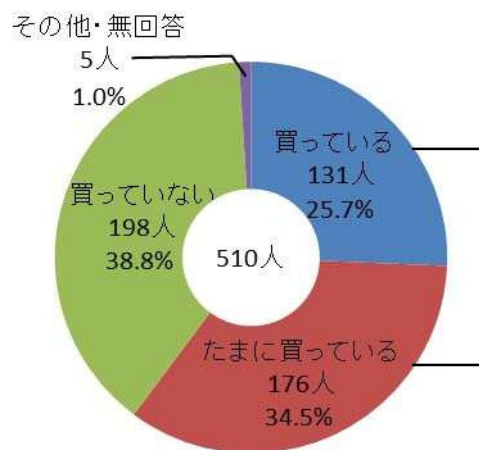


※複数回答者がいるため、合計が 100%を超えています。

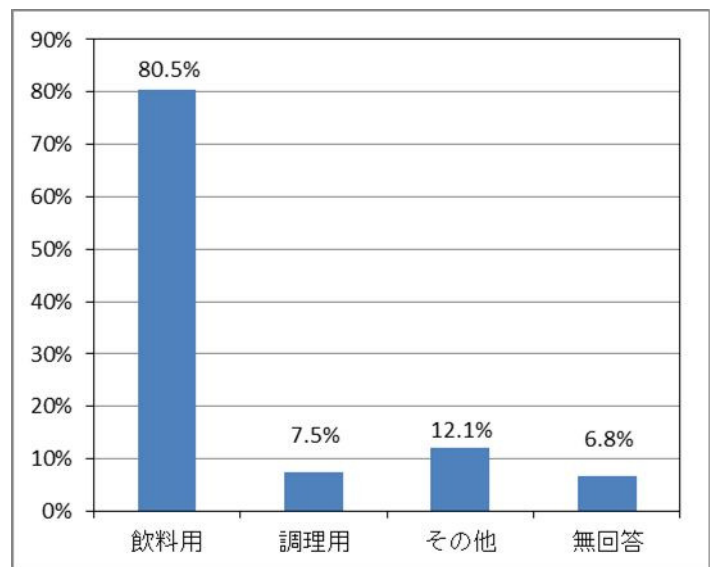
ボトルウォーターを「買っている」が 25.7%、「たまに買っている」が 34.5%であり、購入率は 60.2%（前回 60.4%）であった。浄水器より利用率が高かった。ボトルウォーターを買っている人は、「飲料用」として利用している人が 80.5%と大多数であった。「その他」の意見としては災害時用備蓄水として購入しているという意見が多数見られた。

また、1ヶ月の購入量は1～1,200リットルと幅広く回答があったが、10リットル以内が多く見られた。「たまに買っている」人の購入量は3リットル以内であった。

問 12 ボトルウォーター（ミネラルウォーター）を購入されていますか。

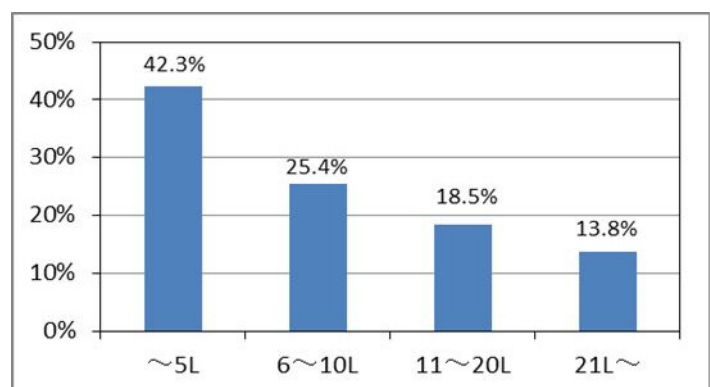


●どのように利用されていますか。※



※複数回答者がいるため、合計が100%を超えています。

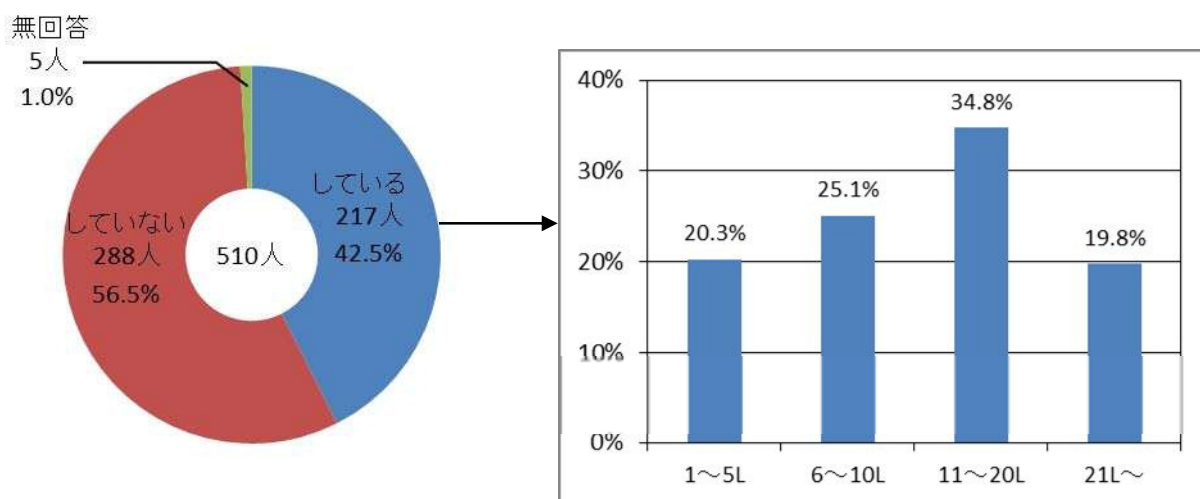
●また、1ヶ月の購入量はどれくらいですか。



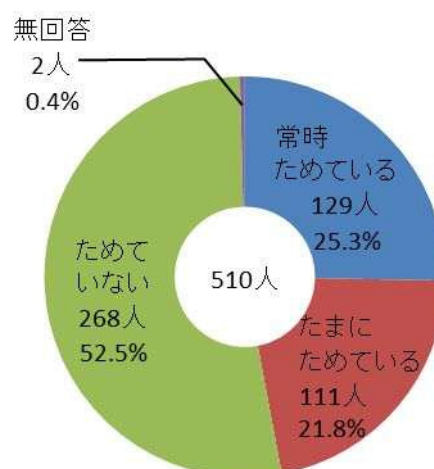
災害対策について

災害時の備蓄を「している」のは42.5%（前回33.3%）、「していない」は56.5%（前回65.8%）であった。また、お風呂に水をためている（「常時ためている」、「たまにためている」）が47.1%を占めている。また、その他の災害への備えとしては、「非常袋・非常食の用意」や、「枕元に懐中電灯を置いている」などの意見が多数見られた。災害時の備えは前回と比べて水の備蓄は増えたが、お風呂の水は下回る結果であった。今後とも引き続き、水の備蓄の重要性を啓発する必要がある。

問 13 あなたは災害時に備えて飲料水のくみ置きやボトルウォーターの買い置きをしていますか。



●お風呂に水をためていますか。



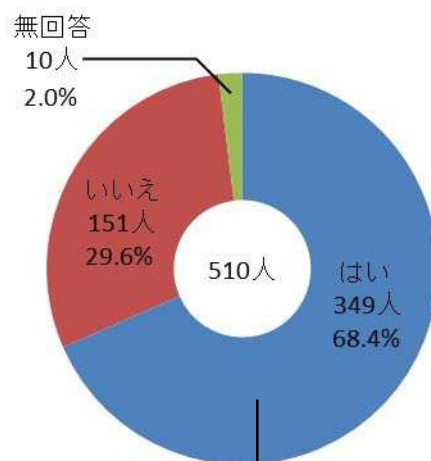
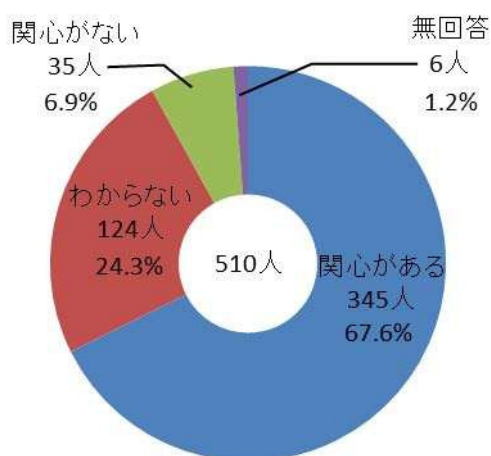
喝水について

喝水問題については、平成 16 年度以降取水制限等は実施されていなかったが、平成 26 年 8 月 1 日から 8 月 14 日まで実施された。ただし、14 日間という短期間であったため、関心は高い(「関心がある」67.6%)ものの前回調査時よりやや下がった。また、喝水を知ったときには68.4%の人が何らかの節水を行っている。

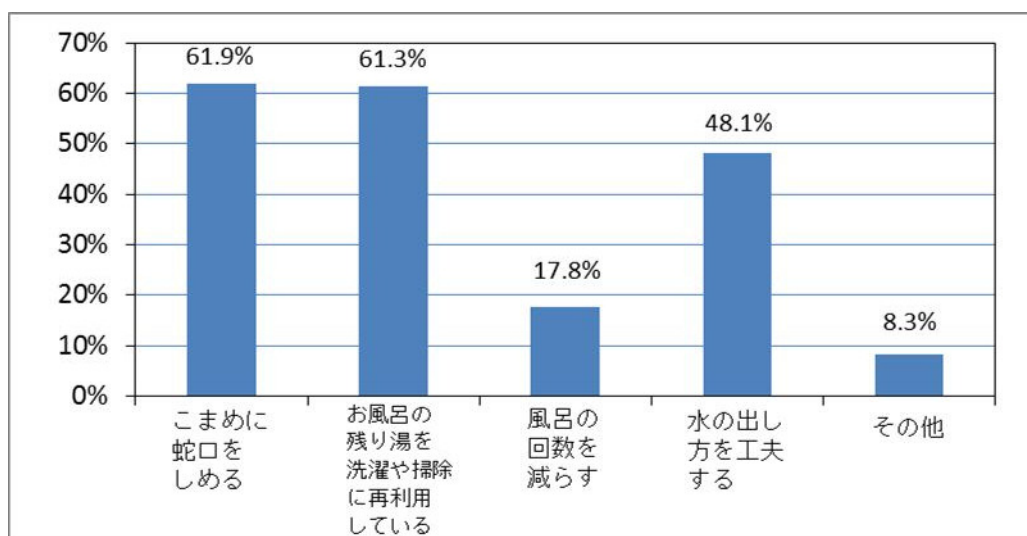
喝水時の節水方法としては、「こまめに蛇口をしめる」(61.9%)が最も多く、「お風呂の残り湯を洗濯や掃除に再利用している」(61.3%)、「水の出し方を工夫する」(48.1%)と続く。その他としては「散水をやめる、又は控える」や「散水などに雨水を使用する」などという意見が見られた。

問 14 喝水問題に関心がありますか。

●これまで新聞やテレビ、広報誌などで喝水を知ったとき、何らかの節水を行いましたか。



●「はい」とお答えになった方で、どのようにして節水していますか。(複数回答可)

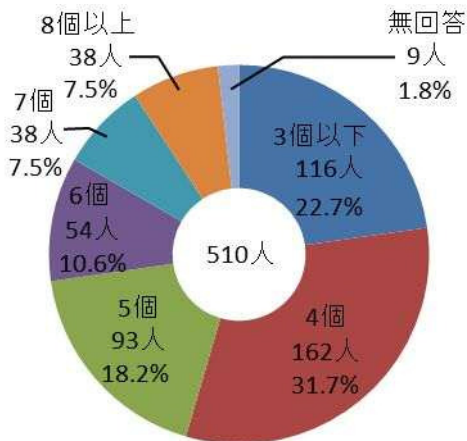


水の使用状況について

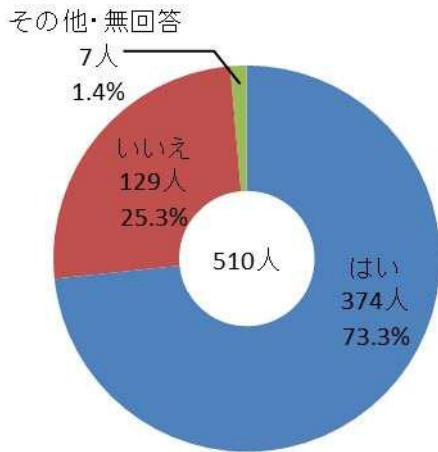
家庭の蛇口数は「4 個」(31.7%)が最も多く、次いで「3 個以下」(22.7%)、「5 個」(18.2%)と続く。

毎日入浴する人は 73.3%、毎日入浴しない 129 人の週平均頻度は 3.25 回である。

問 15 ご家庭の蛇口はいくつありますか。



問 16 お風呂は毎日入りますか。

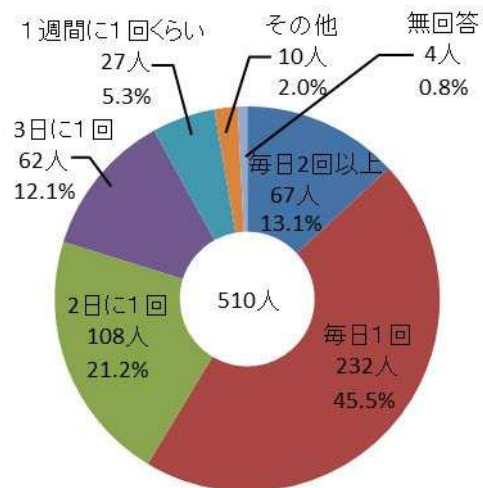


毎日入らない人の入浴頻度(129 人)

	人数	%
週に 0 回	3 人	2.3%
週に 1 回	7 人	5.4%
週に 2 回	13 人	10.1%
週に 3 回	38 人	29.5%
週に 4 回	25 人	19.4%
週に 5 回	7 人	5.4%
週に 6 回	5 人	3.9%
季節等により 幅がある	22 人	17.0%
無回答	9 人	7.0%

洗濯回数は、「毎日1回」(45.5%)が最も多く、次に「2日に1回」(21.2%)、「毎日2回以上」(13.1%)の順に多い。

問 17 洗濯は毎日されますか。



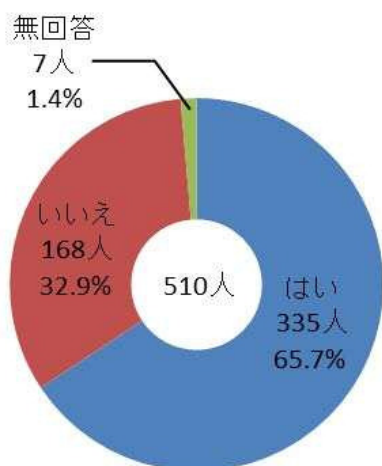
安定給水について

水道事業において独立採算制であることを認識している人は 65.7%にのぼり、前回 (61.9%) から 3.8 ポイント増えた。

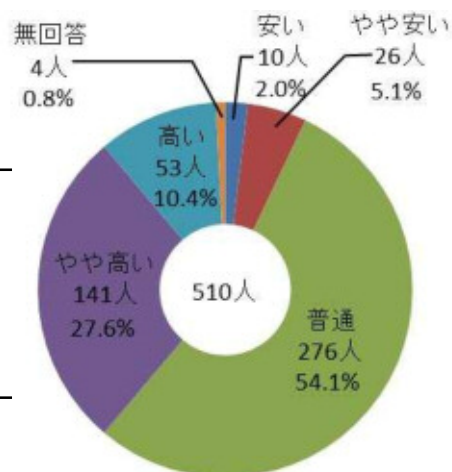
水道料金の料金設定について、「普通」という意見が 54.1%で最も多かった。また、「やや高い」、「高い」と回答された人の合計は 38.0% (前回 33.3%)、「やや安い」、「安い」と回答された人の合計は 7.1% (前回 8.1%) であった。

水道料金が「やや高い」、「高い」の人にそう感じる理由を聞いたところ、「利用の頻度に対して」、「以前住んでいたところに比べて」の人が多かった。その他の理由としては「生活必需品である割には」などという意見が見られた。

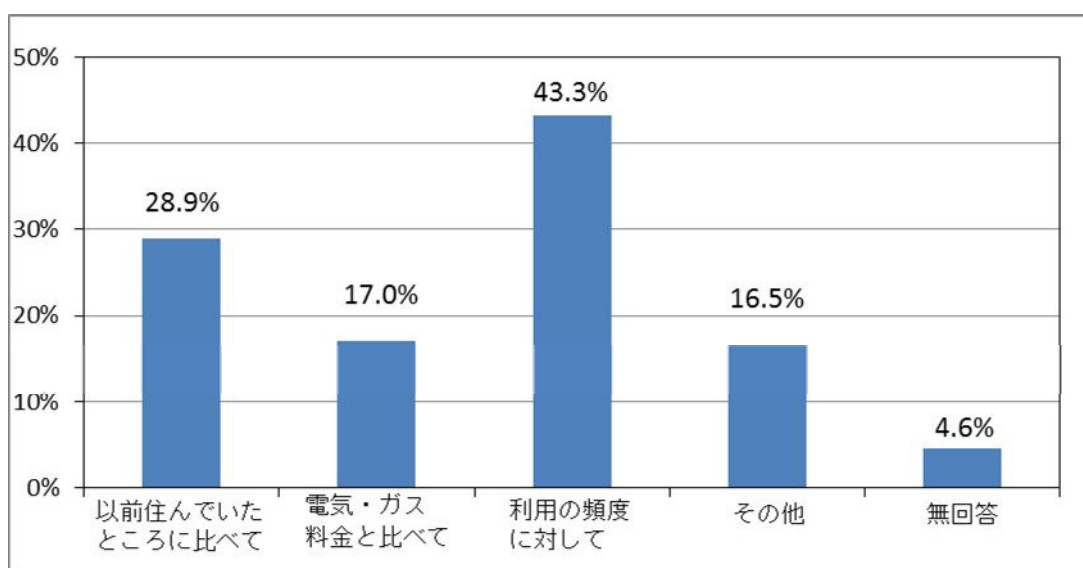
問 18 水道事業は税金ではなく、水道料金で運営していることをご存知ですか。



問 19 水道料金についてどのように感じられておられますか。



●「やや高い」、「高い」と回答された方にお聞きします。
それはなぜですか。(複数回答可)

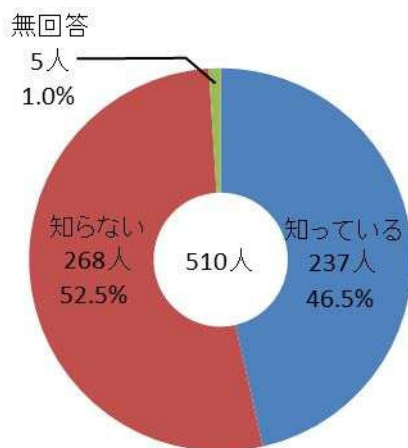


その他

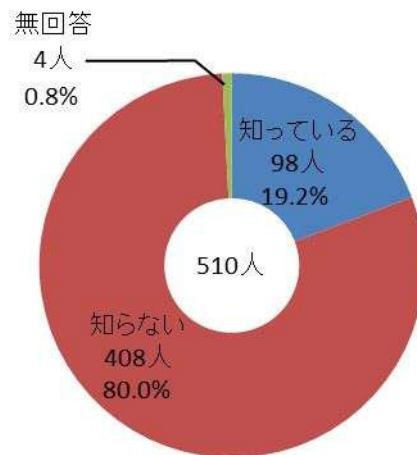
業務の委託について、メータ検針を委託しているかを「知らない」が 52.5%（前回 59.9%）であった。また、夜間や休日の民間業務委託はさらに認知率が低く 80.0%（前回 81.9%）が「知らない」と回答した。

上下水道部を装った悪質訪問販売の被害にあったことがある人は 6.3%で、平成 15 年度調査時 24.9%、平成 19 年度調査時 14.4%、平成 22 年度調査時 3.7%と漸減傾向であったが今回やや増加した。被害の未然防止を図るため、今後とも悪質訪問販売への注意喚起を行っていく必要がある。

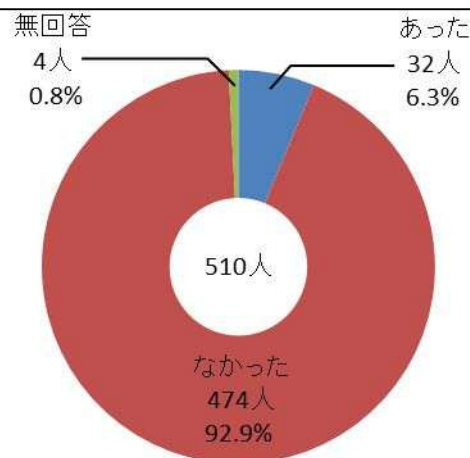
問 20 水道メータの検針を民間に委託していることを知っていますか。



問 21 夜間や休日の業務を民間に委託していることを知っていますか。



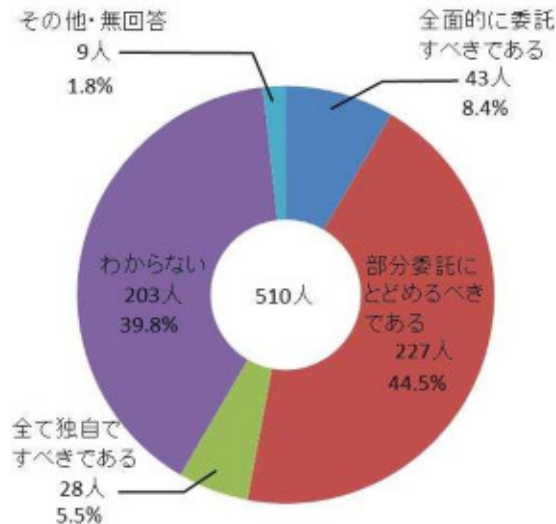
問 22 「上下水道部から来た」、「上下水道部から委託を受けた」などと言って、高額な浄水器を売りつけられたり、ご家庭の水道管の掃除を強要され、法外な料金を請求される被害が多発しています。あなたのご家庭で、このようなことはありましたか。



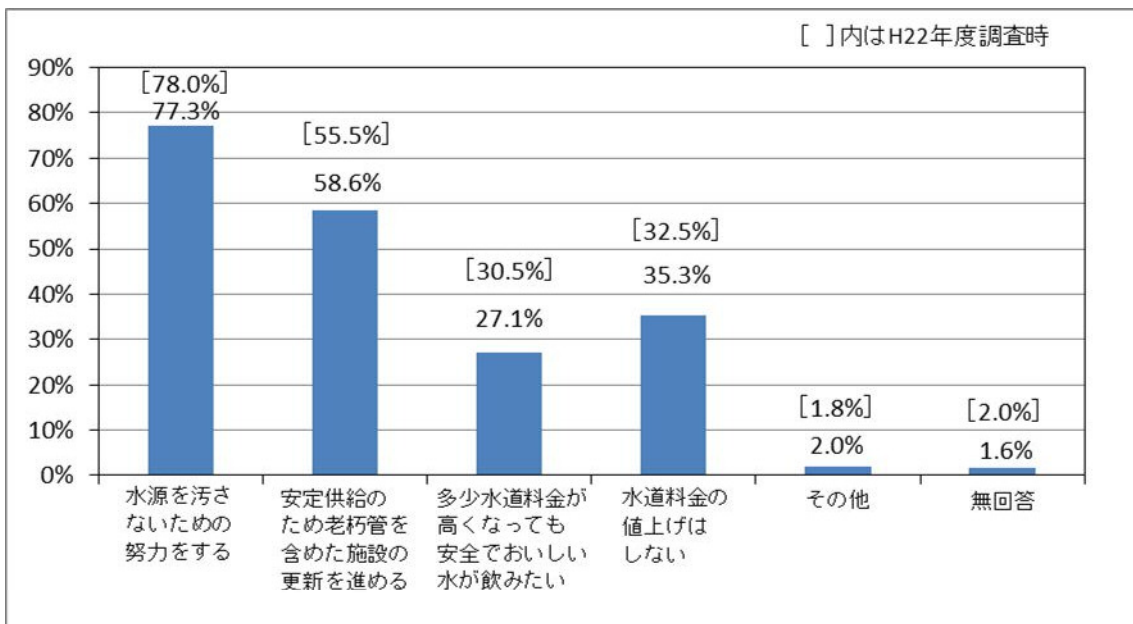
今後、水道事業を民間に委託することについて、「全面的に委託すべきである」が8.4%（前回 6.8%）で、「部分委託にとどめるべきである」、「全て独自ですべきである」あわせて50.0%（前回 52.9%）であった。水道というライフラインに対して全面委託化することについて懐疑的であることがうかがえる。

また、水道事業の使命については、「水源を汚さないための努力をする」が77.3%と最も多く、「安定給水のため老朽管を含めた施設の更新を進める」が58.6%となり、平成22年度調査時の55.5%から3.1ポイント上昇した。水道施設の老朽化に対する意識の向上なのではないかと推察される。

問 23 水道事業を全面的に民間に委託するべきだと思いますか。



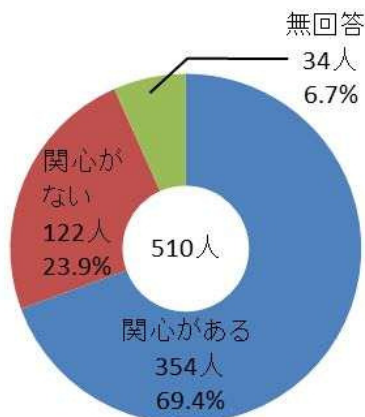
問 24 池田市では、水道の大きな使命である安心して飲める水を、安定供給するためいろいろな事業に取り組んでいます。将来を考えた場合、あなたはどのようなことを望まれますか。（複数回答可）



下水道について

下水道や下水処理について、「関心がある」と回答したのは 69.4%（前回 66.2%）であった。

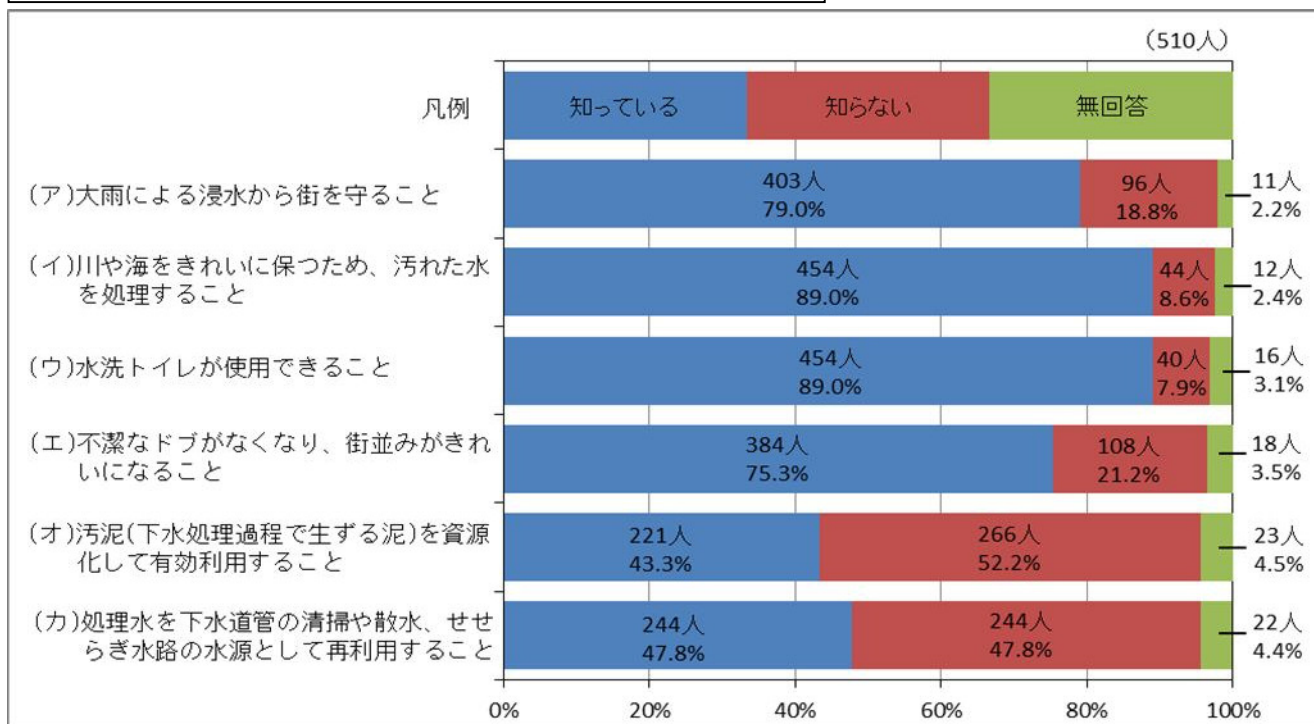
問 25 あなたは下水道や下水処理について、関心がありますか。



下水道の役割やしぐみについて

下水道の役割として最も知られていたのは「川や海をきれいに保つため、汚れた水を処理すること」と「水洗トイレが使用できること」で 89.0%であった。生活に身近なところでの下水道の役割は理解されているようである。一方、「汚泥（下水処理過程で生ずる泥）を資源化して有効利用すること」の認知度は 43.3%で最も低かった。その他、前回調査時認知度が少なかった項目も 5 ポイント程度認知度が高まっている。

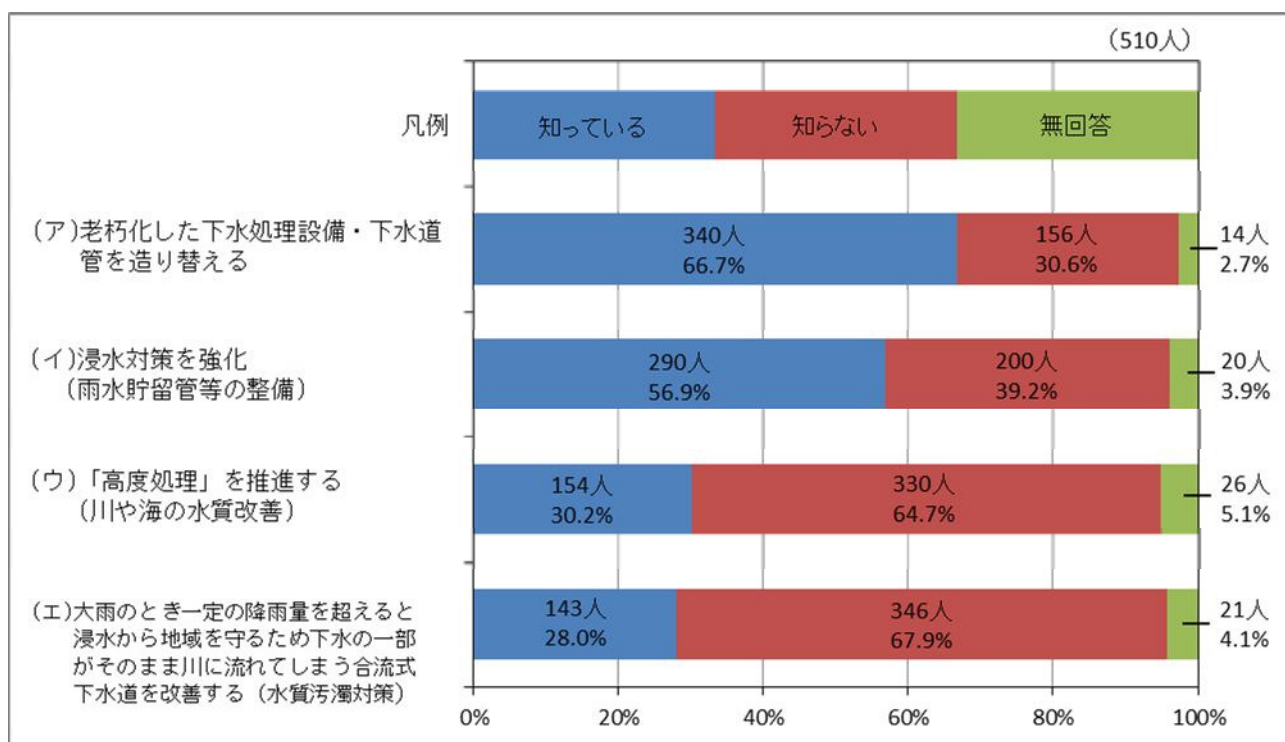
問 26 あなたは次のような役割やしぐみをご存知ですか。



下水道事業の取組みについて

下水道事業の取組みの認知度としては、老朽化施設の更新が 66.7%で最も多く、次いで市街地の浸水対策強化が 56.9%で、前回調査時より 10 ポイント程度上昇した。一方、高度処理化や合流改善などを「知らない」のは7割近くと高く前回とあまり変わらなかった。下水道の役割として「川や海をきれいに保つ」ことを理解しているものの、実際の取組みと関連付けることが困難であるためだと考えられる。

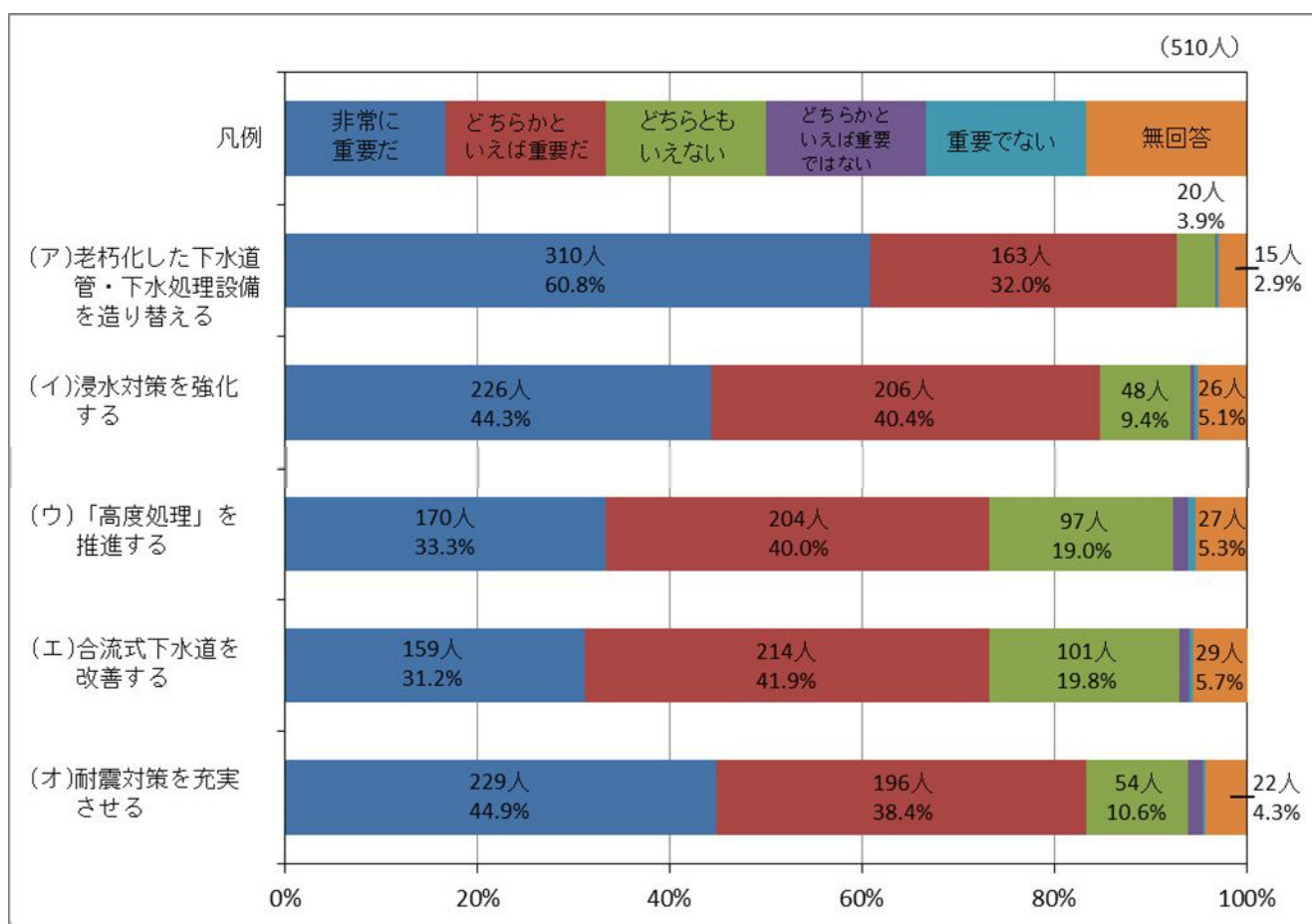
問 27 あなたは次の取組みについてご存知ですか。



下水道事業の取組みとしては、いずれの項目も重要度が高いと認知されていた。中でも、「老朽化の更新」(92.8%)、「浸水対策」(84.7%)は重要度の認識として8割を超える結果となった。また、「高度処理」や「合流改善」では約2割が「どちらともいえない」と回答している。

問 28 あなたは次の取組みについてどの程度重要だと思いますか。

	非常に重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要でない	無回答
(ア) 老朽化した下水道管・下水処理施設を造り替える	310	163	20	1	1	15
(イ) 浸水対策を強化する(雨水貯留管等の整備)	226	206	48	2	2	26
(ウ) 「高度処理」を推進する(川や海の水質改善)	170	204	97	8	4	27
(エ) 合流式下水道を改善する(水質汚濁対策)	159	214	101	5	2	29
(オ) 下水道管や下水処理場などの耐震対策を充実させる	229	196	54	8	1	22

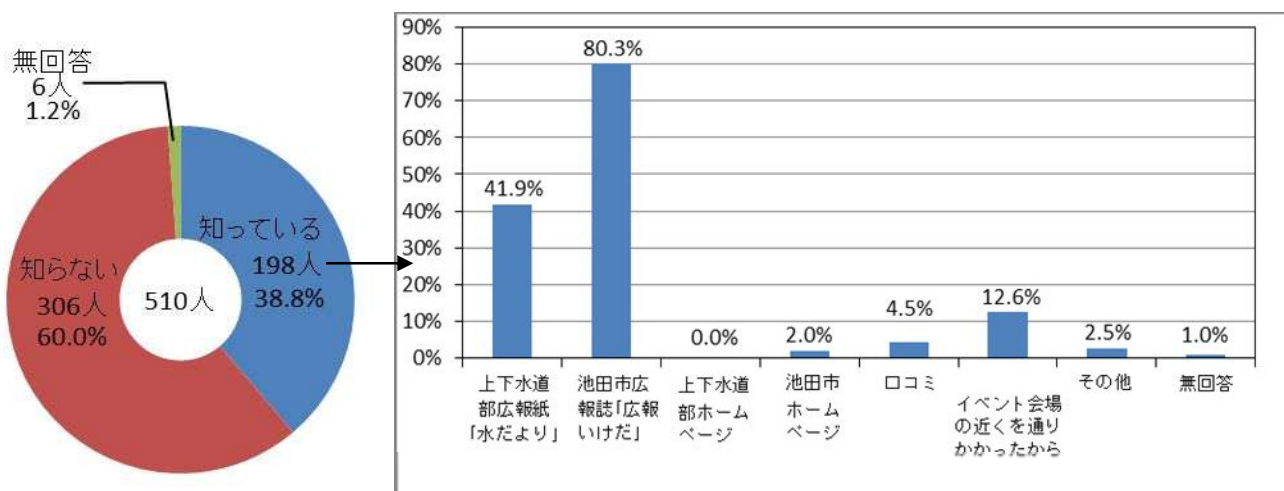


下水の処理水の有効利用について

毎年8月に水の週間の一環として開催している「池田打ち水大作戦」の認知度は38.8%であった。例年250名以上の参加者がある（平成26年度は渇水のため打ち水イベントを中止）ものの、認知度はまだまだ低いようである。また、打ち水を知った媒体については、「広報いけだ」が最も多く、同時に配布している「水だより」の約2倍であった。

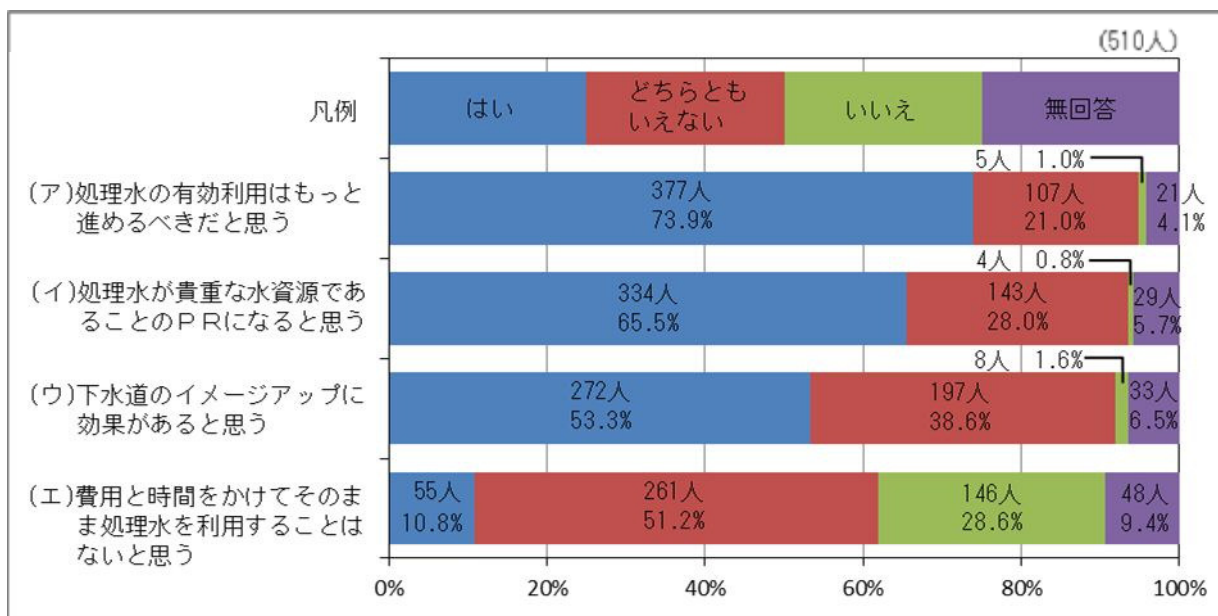
問29 あなたは「池田打ち水大作戦」というイベントをご存知でしたか。

●「知っている」と回答された方にお聞きします。
「池田打ち水大作戦」を何で知りましたか。
(複数回答可)



下水の処理水の有効活用する取組みについては、「処理水の有効利用はもっと進めるべき」が73.9%を占めるなど、理解を得られているようである。その他の意見としては、「コストとのバランスを考慮すべき」などの意見が見られた。

問30 あなたは、資源として下水の処理水を有効活用する取組みをどう思われますか。

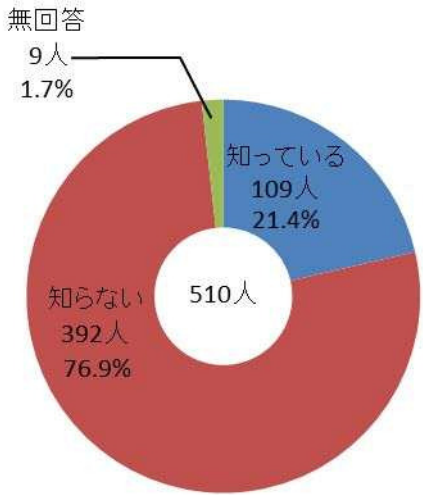


下水道使用料のしくみについて

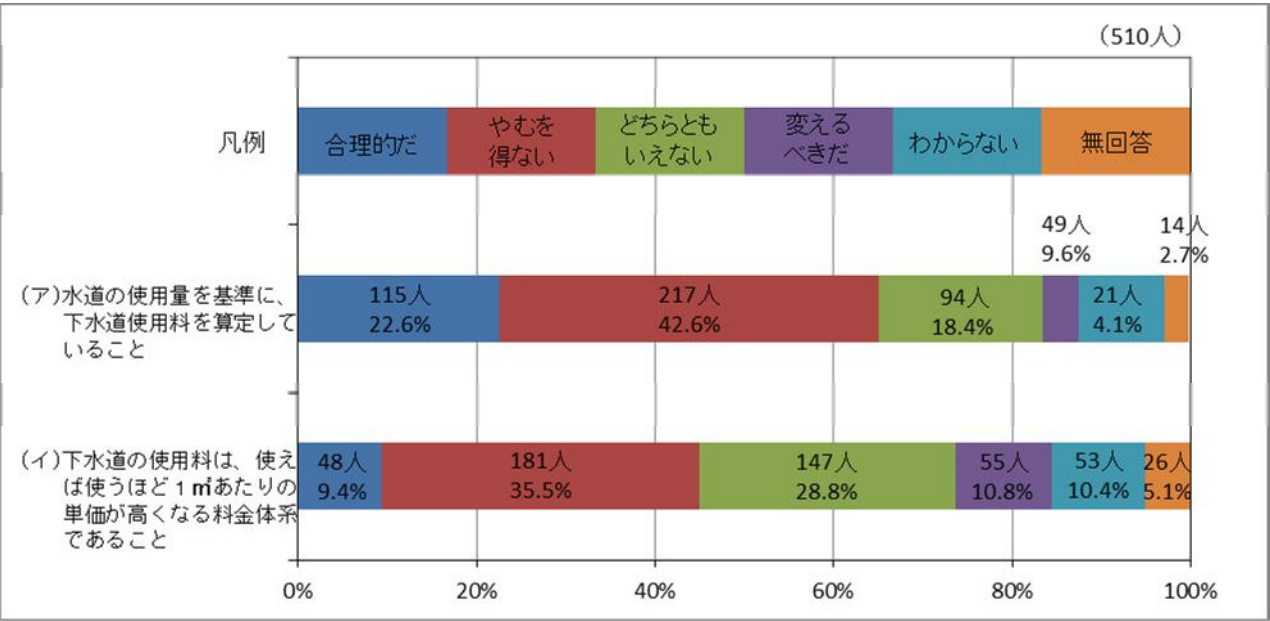
下水道使用料のしくみについて「知っている」のは2割強(21.4%)で、水道料金のしくみについての理解度の約65%に比べてかなり低い結果となった。これは、雨水は税金で汚水は下水道使用料といった区別があるため複雑で理解しがたいものと推察される。

また、料金体系については「水道使用量を基準に下水道使用料を算定している」については約65%が肯定的であるのに対し、「累進使用料制」については約45%と肯定的な意見が少なくなった。

問 31 あなたは雨水を排除する費用は公費(税金)があてられ、汚水処理費には下水道使用料があてられることをご存知ですか。



問 32 あなたは、現行の下水道使用料の料金体系についてどの程度満足されていますか。



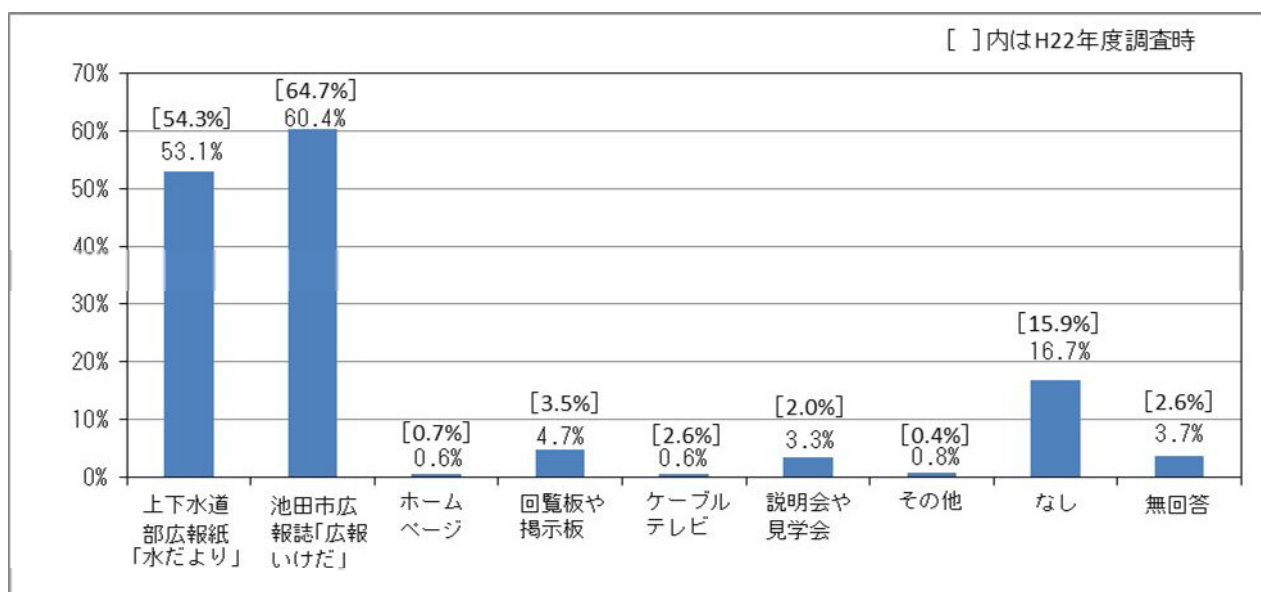
広報・PRについて

上下水道事業の情報源については、「広報いけだ」が60.4%と最も高く、ついで「水だより」が53.1%と高かった。また、ホームページを情報源としているのは0.6%と低く、今後、情報源として活用していただけるホームページへの改善が必要である。

上下水道部広報紙「水だより」を「いつも読んでいる」のが16.3%、「読んだことがある」が55.1%で、71.4%の方に目を通していただいている。

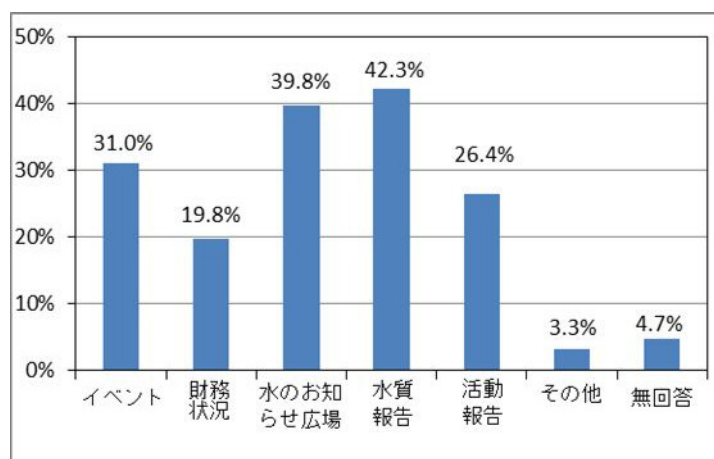
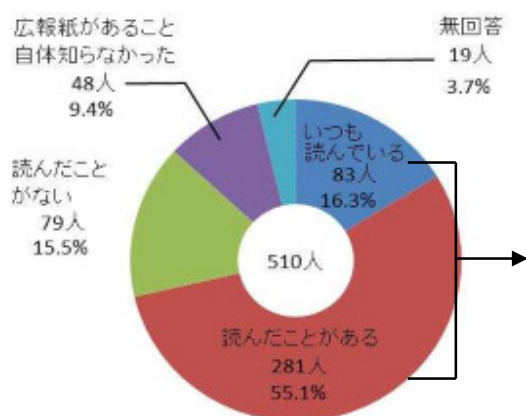
興味のある項目は水質報告、水のお知らせ広場、イベント情報などであった。

問 33 上下水道事業に係る情報にふれたことがありますか。(複数回答可)



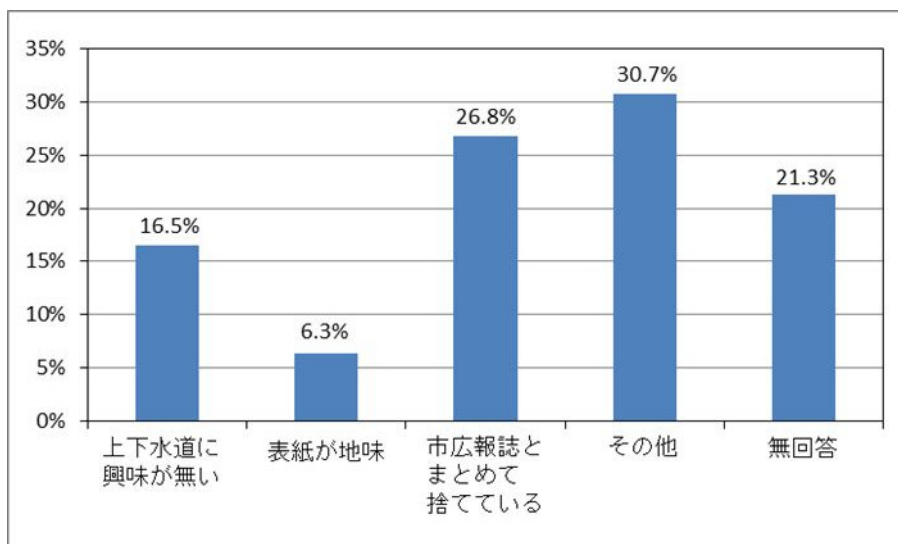
問 34 広報紙「水だより」を年4回発行していますが、ご覧になったことがありますか。

●「いつも読んでいる」「読んだことがある」と回答された方にお聞きします。
興味のある項目はどれですか。(複数回答可)



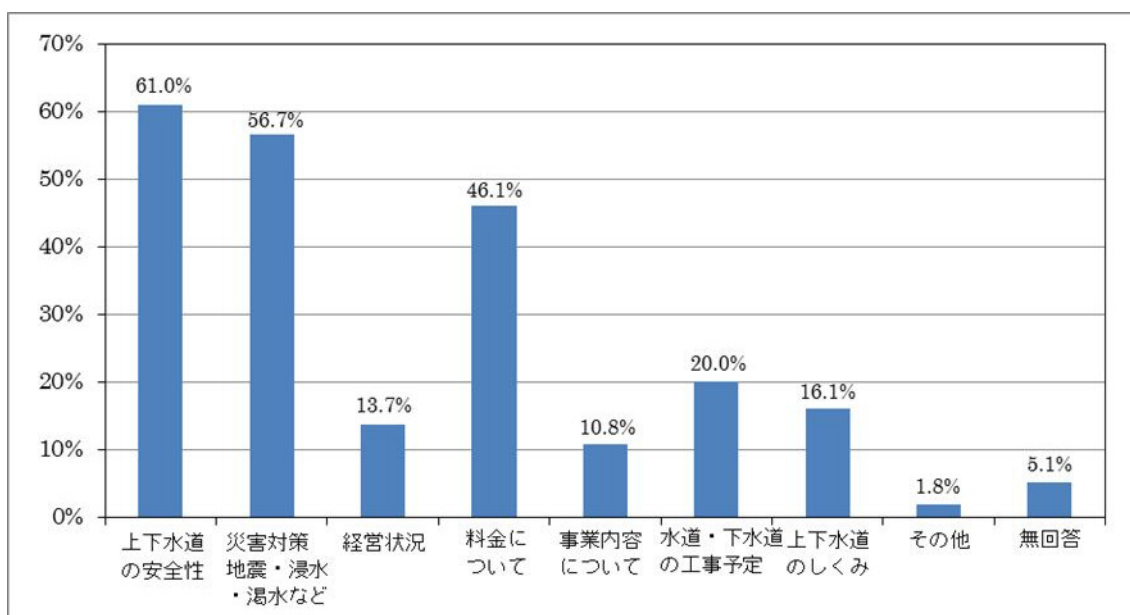
水だよりを読んだことがない理由では、「市広報誌とまとめて捨てている」、「上下水道に興味がない」が多い。その他の理由としては、「配達されていることに気付いていない」という回答が多かった。

●「読んだことがない」と回答された方にお聞きします。
それはなぜですか。(複数回答可)



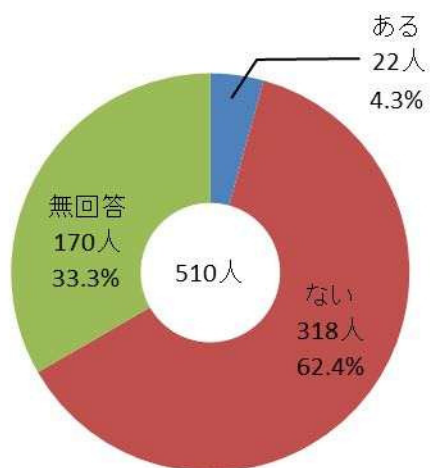
上下水道で知りたい情報は「上下水道の安全性」、「災害対策」、「料金について」が上位3位であった。その他の意見については「登録事業者一覧表」や「緊急時の連絡先」などの意見が見られた。

問 35 上下水道のことで知りたい情報は何ですか。(複数回答可)



上下水道部のホームページを見たことがある人は、4.3%（前回 2.4%）とごくわずかで、全体の3分の1の方が無回答であった。インターネットを使用されていない方が回答されたと思われる。ホームページを情報源として活用している人が少ないことから、ホームページの存在をPRし、さらに内容を充実させる必要がある。

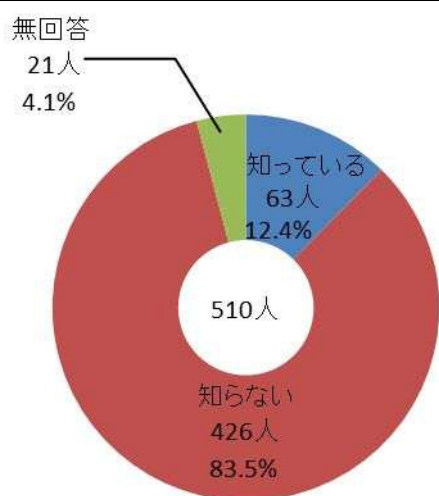
問 36 インターネットをご使用されている方にお聞きします。上下水道部のホームページをご覧になったことがありますか。



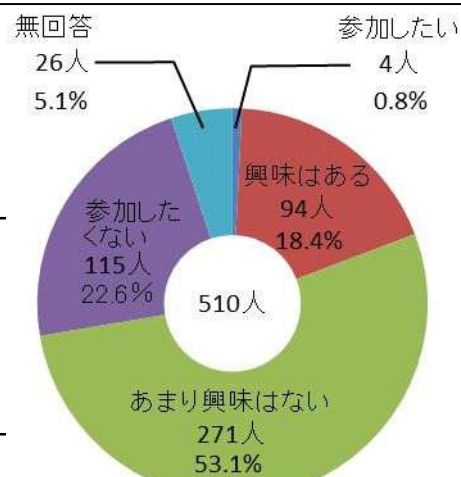
上下水道モニター会議について

上下水道モニター会議の浸透をはかるため、今回の調査から新たにモニター会議の設問を設けた。モニター会議を「知らない」人が8割(83.5%)を占め、モニター会議に「参加したい」、「興味はある」人の割合は2割(19.2%)であった。モニター会議に希望する内容には、施設見学など様々な意見が寄せられた。モニター会議に「あまり興味はない」、「参加したくない」理由としては、「現状に満足していて、特に言うことがない」、「日程が合わない」が多かった。その他の理由としては「高齢や体調の都合で参加困難」という意見があった。

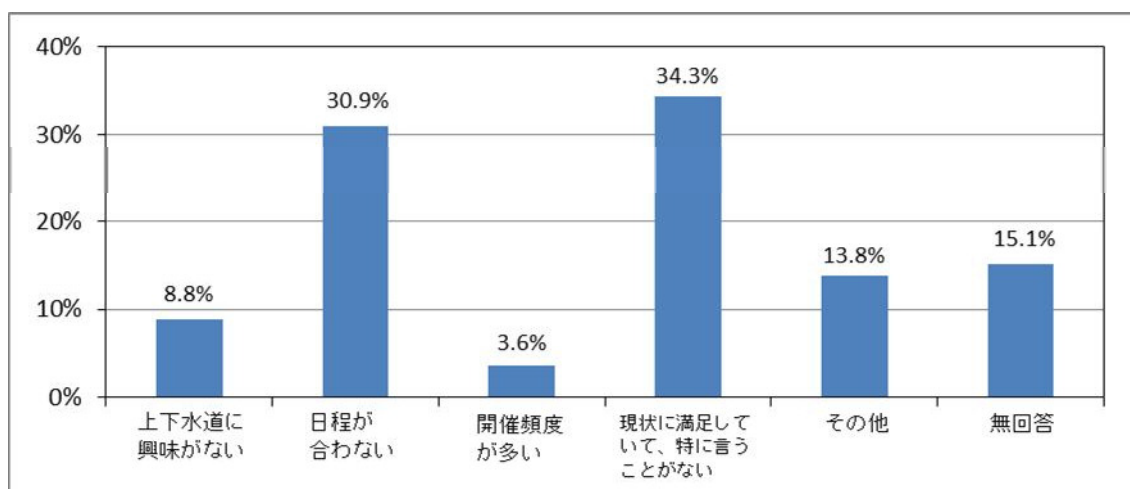
問 37 あなたは、上下水道モニター会議をご存知ですか。



問 38 あなたは、上下水道モニター会議に参加してみたいと思いますか。



● 「あまり興味はない」または「参加したくない」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)



上下水道についてのアンケート調査

平素は、池田市上下水道事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

上下水道部では、上下水道事業運営の基礎資料とするため、皆様に上下水道のご利用実態や上下水道に関する意識調査等のアンケートをお願いしています。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査は、無作為に選ばせていただいた 1000 世帯の皆様をお願いしております。また、回答いただいた内容については調査目的のみに利用し、他の目的には利用いたしません。

平成 27 年 3 月

池田市上下水道部経営企画課

回答にあたって

- このアンケートのあて名は、上下水道のご使用者としてお届けいただいている方のお名前になっていますが、ご家族の中で最も上下水道の使用状況について詳しい方に回答いただきますようお願いいたします。
- 回答は、特に指定がない場合は、設問ごとに 1 つだけ○印をつけてください。
- ご記入いただきました調査票は、3 月 3 1 日(火)までに同封の返信用封筒に入れて、ご返送下さい。
- 回答にあたりご不明な点がございましたら、上下水道部経営企画課までお問い合わせ願います。
- 結果につきましては、後日ホームページ(<http://www.ikedashi-suido.jp/>)等で公開する予定です。

(電話) 072-754-6069 (FAX) 072-751-3852 担当：松本、八木

●「いいえ」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)

- (1) 安全性が気になる (2) においが気になる (3) 味がまずい
(4) その他 ()

問10 現在の浄水処理方法をレベルアップした高度浄水処理方法があります。この高度浄水処理をすれば水道の水質はさらによくなりますが、料金は高くなります。それをどのように思われますか。

- (1) 高くなってもよい (2) 今のままでよい (3) どちらともいえない

問11 あなたのご家庭では浄水器をお使いですか。

- (1) はい (2) いいえ

●「はい」と回答された方にお聞きします。お使いの理由は何ですか。

- (1) 安全だから (2) おいしいから (3) 体にいいから
(4) その他 ()

問12 ボトルウォーター(ミネラルウォーター)を購入されていますか。

- (1) 買っている (2) たまに買っている (3) 買っていない

●(1)または(2)と回答された方にお聞きします。どのように利用されていますか。
また、1ヵ月の購入量はどれくらいですか。

- (1) 飲料用 (2) 調理用 (3) その他 ()
購入量(1ヵ月 リットル)

災害対策について

問13 災害時(震災など)の備えとその対策についてお聞きします。

●あなたは災害時に備えて、飲料水のくみ置きやボトルウォーターの買い置きをしていますか。

- (1) している (リットル) (2) していない

●お風呂に水をためていますか。

- (1) 常時ためている (2) たまにためている (3) ためていない

●上記以外に災害に備えて行っていることがあればご記入ください。

()

喝水について

問 1 4 喝水問題に関心がありますか。

- (1) 関心がある (2) わからない (3) 関心がない

●これまで新聞やテレビ、広報誌などで喝水を知ったとき、何らかの節水を行いましたか。

- (1) はい (2) いいえ

●「はい」とお答えになった方で、どのようにして節水していますか。(複数回答可)

- (1) こまめに蛇口をしめる (2) お風呂の残り湯を洗濯や掃除に再利用している
(3) 風呂の回数を減らす (4) 水の出し方を工夫する
(5) その他 ()

水の使用状況について

問 1 5 ご家庭の蛇口はいくつありますか。

- (1) 3 個以下 (2) 4 個 (3) 5 個 (4) 6 個 (5) 7 個
(6) 8 個以上

問 1 6 お風呂は毎日入りますか。

- (1) はい (2) いいえ (週 回)

問 1 7 洗濯は何回されますか。

- (1) 毎日 2 回以上 (2) 毎日 1 回 (3) 2 日に 1 回 (4) 3 日に 1 回
(5) 1 週間に 1 回くらい (6) その他 ()

安定給水について

問 1 8 水道事業は税金ではなく、水道料金で運営していることをご存知ですか。

- (1) はい (2) いいえ

問 1 9 水道料金についてどのように感じておられますか。

- (1) 安い (2) やや安い (3) 普通 (4) やや高い (5) 高い

ご注意：電気・ガス料金は 1 カ月毎のお支払いですが、水道料金は下水道使用料と合わせて 2 カ月分を一度にお支払いいただいております。

●「やや高い」、「高い」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)

- (1) 以前住んでいたところと比べて (2) 電気・ガス料金と比べて
(3) 利用の頻度に対して
(4) その他 ()

その他

問 2 0 水道メーターの検針を民間に委託していることをご存知ですか。

- (1) 知っている (2) 知らない

問 2 1 夜間や休日の業務を民間に委託していることをご存知ですか。

- (1) 知っている (2) 知らない

問 2 2 「上下水道部から来た」、「上下水道部から委託を受けた」などと言って、高額な浄水器を売りつけられたり、ご家庭の水道管の掃除を強要され、法外な料金を請求される被害が多発しています。あなたのご家庭で、このようなことはありましたか。

- (1) あった (2) なかった

問 2 3 水道事業を全面的に民間に委託するべきだと思いますか。

- (1) 全面的に委託すべきである (2) 部分委託にとどめるべきである
(3) 全て独自ですべきである (4) わからない

問 2 4 池田市では、水道の大きな使命である安心して飲める水を、安定供給するためにいろいろな事業に取り組んでいます。将来を考えた場合、あなたはどのようなことを望まれますか。(複数回答可)

- (1) 水源を汚さないため努力する
(2) 安定供給のため老朽管を含めた施設の更新を進める
(3) 多少水道料金が高くなっても、安全でおいしい水が飲みたい
(4) 水道料金の値上げはしない
(5) その他 ()

★その他水道事業に関してお気づきの点がありましたら、ご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

下水道について

問25 あなたは、下水道や下水処理について、関心がありますか。

- (1) 関心がある (2) 関心がない

下水道の役割やしぐみについて

水は私たちの生活に欠かせないものです。また、使用した水は汚れた水として排水しなければなりません。下水道は、私たちの暮らしの中で生じた汚水をきれいな水に戻して自然に返したり、雨水を排除して街を浸水から防ぐなどの重要な役割を担っています。

問26 あなたは、次のような役割やしぐみをご存知ですか。(ア) から (カ) までの各項目について、あてはまるものをどちらか選んでください。

	知 つ て い る	知 ら な い
(ア) 大雨による浸水から街を守ること	1	2
(イ) 川や海をきれいに保つため、汚れた水を処理すること	1	2
(ウ) 水洗トイレが使用できること	1	2
(エ) 不潔なドブがなくなり、街並みがきれいになること	1	2
(オ) 汚泥（下水処理過程で生ずる泥）を資源化して有効利用すること	1	2
(カ) 処理した下水を下水道間の清掃や散水、せせらぎ水路の水源として再利用すること	1	2

下水道事業の取組みについて

池田市では、早くから下水道の積極的な整備に努め、平成26年度末には人口普及率が100%に達する見込みで、市民の方すべてに下水道をご利用いただけるようになります。そして、今後も下水道を次世代に引き継いでいくための様々な取り組みを進めています。

問27 あなたは、次の取組みについてご存知ですか。(ア) から (エ) までの各項目について、あてはまるものをどちらか選んでください。

	知 つ て い る	知 ら な い
(ア) 老朽化した下水処理設備・下水道管を造り替える	1	2
(イ) 浸水対策を強化（雨水貯留管等の整備）	1	2
(ウ) 「※ ¹ 高度処理」を推進する（川や海の水質改善）	1	2
(エ) 大雨のとき一定の降雨量を超えると、浸水から地域を守るため下水の一部がそのまま川に流れてしまう※ ² 合流式下水道を改善する（水質汚濁対策）	1	2

※¹ 赤潮の原因になる窒素やリンを下水の処理水から取り除く処理など。

※² 下水道には分流式と合流式があり、合流式は汚水と雨水を一つの管で下水処理場へ流している。しかし、合流式は大雨のとき一定の降雨量を超えると、浸水から地域を守るため下水の一部がそのまま川に流れてしまう。

問 2 8 あなたは、次の取り組みについてどの程度重要だと思いますか。(ア) から (オ) までの各項目について、考えに最も近いものを 1 つだけ選んでください。

	非常に重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない
(ア) 老朽化した下水道管・下水処理設備を造り替える	1	2	3	4	5
(イ) 浸水対策を強化する (雨水貯留管等の整備)	1	2	3	4	5
(ウ) 「高度処理」を推進する (川や海の水質改善)	1	2	3	4	5
(エ) 合流式下水道を改善する (水質汚濁対策)	1	2	3	4	5
(オ) 下水道管や下水処理場などの耐震対策を充実させる	1	2	3	4	5

下水の処理水の有効利用について

池田市では、資源循環型 (リサイクル) 社会に向けた取り組みとして、下水の処理水を下水道管の清掃や散水に利用したり、高度処理水を阪急池田駅前のせせらぎ用水に活用しています。

また、毎年 8 月初旬にヒートアイランド対策の一環として市役所前にて実施している「池田打ち水大作戦」 (道路や公園などに打ち水をして気温を下げる試み) にも高度処理水を利用して、有効活用を進めています。

問 2 9 あなたは、「池田打ち水大作戦」というイベントをご存知ですか。

- (1) 知っている
(2) 知らない

● 「知っている」と回答された方にお聞きします。(複数回答可)

あなたは、この「池田打ち水大作戦」を何で知りましたか。

- (1) 上下水道部広報紙「水だより」 (2) 池田市広報誌「広報いけだ」
(3) 上下水道部ホームページ (4) 池田市ホームページ
(5) 口コミ (6) イベント会場の近くを通りかかったから
(7) その他 ()

問３０ あなたは、資源として下水の処理水を有効活用する取組みについてどう思われますか。（ア）から（エ）までの各項目について、それぞれあてはまるものを１つだけ選んでください。また、その感想などがありましたら（オ）にご記入ください。

	はい	どちらともいえない	いいえ
（ア）処理水の有効利用はもっと進めるべきだと思う	1	2	3
（イ）処理水が貴重な水資源であることのＰＲになると思う	1	2	3
（ウ）下水道のイメージアップに効果があると思う	1	2	3
（エ）費用と時間をかけてそのまま処理水を利用することはないと思う	1	2	3
（オ）その他（具体的に記入）			

下水道使用料のしくみについて

下水道事業は、生活排水などの汚水と、自然現象である雨水の両方の処理を行っています。このうち雨水を排除して浸水から街を守るために必要な費用は公費（税金）でまかなわれ、家庭や事業所などから出た汚水を集めてきれいにする費用は、下水道使用料として直接皆様から水道及び井戸の使用水量に応じた負担をいただくことを基本としています。

問３１ あなたは、雨水を排除する費用は公費（税金）があてられ、汚水処理費には下水道使用料があてられることをご存知ですか。

- （１）知っている （２）知らない

問32 あなたは、現行の下水道使用料の料金体系についてどの程度満足されていますか。
各項目について、考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

	合理的である	やむを得ない	どちらともいえない	変えるべきだ	わからない
(ア) 水道の使用量を基準に、下水道使用料を算定していること	1	2	3	4	5
(イ) 下水道の使用料は、使えば使うほど1 m ³ あたりの単価が高く なる料金体系であること	1	2	3	4	5

★その他下水道事業に関してお気づきの点がありましたら、ご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問33 上下水道事業に係る情報にふれたことがありますか。(複数回答可)

- (1) 上下水道広報紙「水だより」 (2) 池田市広報誌「広報いけだ」
(3) ホームページ (4) 回覧板や掲示板 (5) ケーブルテレビ
(6) 説明会や見学会 (7) その他 ()
(8) なし

問34 広報紙「水だより」についてお聞きします。

●年4回発行していますが、ご覧になったことがありますか。

- (1) いつも読んでいる (2) 読んだことがある
(3) 読んだことがない (4) 広報紙があること自体知らなかった

●「いつも読んでいる」「読んだことがある」と回答された方にお聞きします。

興味のある項目はどれですか。(複数回答可)

- (1) イベント情報 (2) 財務状況 (3) 水のお知らせ広場(災害対策コーナー)
(4) 水質報告 (5) 活動報告
(6) その他 ()

●「読んだことがない」と回答された方にお聞きします。

それはなぜですか。(複数回答可)

- (1) 上下水道に興味がない (2) 表紙が地味 (3) 市広報誌とまとめて捨てている
(4) その他 ()

問35 上下水道のことで知りたい情報は何ですか。(複数回答可)

- (1) 上下水道の安全性 (2) 災害対策(地震・浸水・濁水など) (3) 経営状況
(4) 料金について (5) 事業内容について (6) 水道・下水道の工事予定
(7) 上下水道の仕組み (8) その他 ()

問36 インターネットをご使用されている方にお聞きします。上下水道部のホームページをご覧になったことがありますか。

- (1) ある (2) ない

上下水道モニター会議では、水に関する施設を見学したり、上下水道の疑問や現状と未来などを井戸端会議のような雰囲気です話し合います。毎年2月上旬に広報紙「水だより」等でメンバーを募集しており、任期は5月頃～翌3月末の約1年間で、平日の日中に年5、6回の会議を開催しています。

問 37 あなたは、上下水道モニター会議をご存知ですか。

- 問38 あなたは、上下水道モニター会議に参加してみたいと思いますか。

- （１）または（２）と回答された方にお聞きします。どのような内容を希望されますか。

●（３）または（４）と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。（複数回答可）

- ご協力ありがとうございました。